

カンヌが、
そして世界が注目—
20歳の女性監督が贈る感動のドラマ



サミラ・マフマルバフ監督作品

ブラックボード

— 背負う人 —

BLACKBOARDS CANNES 2000 JURY PRIZE
a film by Samira Makhmalbaf

第53回カンヌ国際映画祭審査員賞受賞

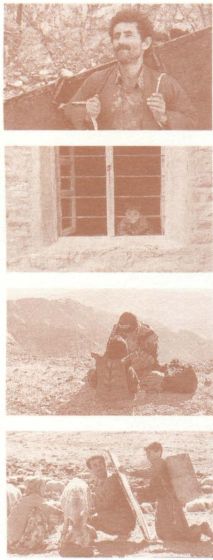
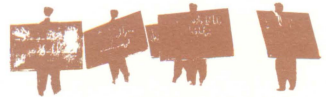
2000年度ノイラン映画ノイスタサイズノカラー作品ノ85分 提供ノアーティストフィルム、テレビ朝日ノオフィス北野、配給ノオフィス北野、アーティストフィルム
脚本ノ編纂ノモフセンマフマルバフノ撮影ノエブラヒムカフオリノ録音ノベヘロースシャハマトノ音楽ノモハマドレサダルワシ 出演ノサイドモハマディノバフマンコバディノベヘノースジャフリ

「ほくたち、先生のこと、
きつと忘れない…」



第53回カンヌ国際映画祭審査員賞受賞

◆ TOKYO FILMeX 2000 オープニング招待作品 ◆ 第25回トロント国際映画祭正式上映
◆ 第44回ロンドン国際映画祭正式上映 ◆ 第5回プサン国際映画祭正式上映



چه جلایا به روزی تمام میشن با اونایی که این جگرها رو شروع کردن
یادشون می‌ره که من حبابی رو که سبزی جنگ گذاشته اند سبزیان که
هر روز بیخیه‌ها روشن شدن
— سامیرا مخملباف

全ての戦争はいつか終わります。
しかし戦争を起こした人は、自分たちが埋めた地雷で、
今もなお子供たちが傷ついていることを忘れてはなりません。
そのことを、この映画を通して知ってもらいたいと思います。

サムira・マフマルバフ

ブラックボード - 背負う人 -

原題: "TAKHTE SHAH" 英題: "BLACKBOARDS"

2000年度/イラン映画・ヴィスタサイズ/カラー/作品 85分

監督・脚本: サミラ・マフマルバフ / SAMIRA MAKHMALBAF
脚本・編集: モフセン・マフマルバフ / MOHSEN MAKHMALBAF
撮影: エブラヒム・ガフオリ / EBRAHIM GHAFORI
録音: ベヘローズ・シヤハマット / BEHROZ SHIAHAMAT
音楽: モハマッド・レザ・ダルヴィシ / MOHAMED REZA DARVISHI
出演: サイド・モハマディ / SAID MOHAMADI (サイド / SAID)
バフマン・ゴバディ / BAHMAN GHOBADI (レアル / REEBOR)
ベハナース・ジャファリ / BEHNAZ JAFARI (ハラレ / HALALCH)

製作: マフマルバフ・フィルムハウス(イラン)
ファブリカ・シネマ(イタリア)
オフィス北野(日本)

提供: アーティストフィルム、テレビ朝日 / オフィス北野
配給: オフィス北野、アーティストフィルム

2000年のカンヌ映画祭で快挙! 20歳の女性監督、サムira・マフマルバフ!!

20世紀を締めくくるとこの年のカンヌ映画祭で、1本の作品がコンペティション部門で注目を集めていた。

題名は『ブラックボード - 背負う人-』。
監督はサムira・マフマルバフ。わずか20歳の女性である(撮影当時は19歳)。

物語の舞台は戦火激しいイラン=イラク戦争の国境地帯。親を失った孤児たちに勉強だけでも教えようと、黒板を背負って村から村へと旅を続ける教師の姿を描いたドラマである。

この作品がヴェールを脱ぐやいなや、それは新たな驚きを呼んだ。メイン会場リュミエールの大画面に展開されたのは、それが20歳の女性によるものと思えぬパワフルな映像だったからだ。公式上映は喝采に包まれ、翌日から新聞各紙はサムiraの特集を組み、フランスの有力紙"ル・モンド"が「細部と全体の構成に素晴らしい感覚を示し、非凡な勇氣を感じさせる驚くべき監督」と最大限の賛辞を送れば、『BROTHER』出品のためカンヌ入りしていた北野武監督は「ダイヤの原石」と評したほどだった。

そして、この作品はリュック・ベッソン率いる審査員団をも魅了し、コンペティション部門初挑戦にして史上最年少の審査員賞受賞という結果を生んだ。授賞式でサムira監督は感激に声をつまらせ、満場の拍手を受けたという。

キアロスタミ、マジデira サラブレッド 躍進著しいイラン映画界の正統派後継者

サムiraは80年生まれ。父親はキアロスタミと並びイランを代表する巨匠として知られ、日本でも『パンと植木鉢』、『ギヤベ』などが公開されているモフセン・マフマルバフ。8歳で父の代表作『サイクリスト』に子役として出演し、その後は父のアシスタントをつとめた。現場での経験も豊富で、早くも17歳にしてセミドキュメンタリー「りんご」で監督デビュー。この作品はカンヌ映画祭「ある視点」部門に出品されるや、ゴダールの絶賛を受け、サムiraは一躍イラン映画界のシンデレラ・ガールとなった。

近年、キアロスタミの「桜桃の味」が97年カンヌのバルム・ドール受賞、マジッド・マジデiraの『運動靴と赤い金魚』が世界各地でヒットするなど、イラン映画のレベルの高さは実証済み。今年のカンヌでの『ブラックボード - 背負う人-』の受賞は、ハタミ政権成立以降、民主化が急ピッチで進むイランにおいて、映画製作をめぐる環境が極めて良好になりつつあることを証明した。とりわけ、イランでは社会的に困難な立場にある女性の映画監督サムiraが受賞したことは、単に映画界の話題にとどまらず、社会的なトピックとして世界の注目を集めている。

異なる3つの世代を描いて— 誰もが何かを、"背負っている"

この作品は、老人、成人、少年の3世代の人々をめぐるドラマである。危険な戦場の真只中、死ぬ前にもう一度故郷を見るために険しい山道をゆく老人たち、生活のために危険を冒してヤミ物資を運ぶあどけない少年たち、そして彼らに教育を広めるために旅をする教師たち—。さらに一人の教師と、子供をつれた未亡人との淡いラブ・ストーリーが絡み合い、女性監督らしい繊細な表現で、戦火の中の恋愛を描いた。

『ブラックボード - 背負う人-』の冒頭は、黒板を背負った教師たちが山道を歩く鮮烈なイメージから始まる。教師は黒板を背負い、少年たちはヤミ物資を背負い、老人たちは疲労や病に倒れた仲間を背負う。これら、文字通りの「背負う」行為のほかにも、登場人物たちは様々なものを「背負っている」。それは教育や戦争、民族だったり、貧困や家族、孤独であったり—。映画のキャラクターたちが背負っていたものは、現代を生きる私たちが背負うものとの何の違いもない。そのことが、我々に普遍的な感動を与えてくれる本当の理由なのだ。

BLACKBOARDS CANNES 2000 JURY PRIZE

a film by Samira Makhmalbaf

6月、感動のロードショー

上映時間: 連日 ①12:30 ②2:30 ③4:30 ④6:30 [入替制]

●前売券¥1500発売中● 劇場窓口、チケットぴあ、ローソンや市内プレイガイドにて窓口でお求めの方、先着50名様にポストカードプレゼント有

【日程は劇場に問い合わせ下さい】

パラダイスシネマ

心齋橋アメリカ村BIG STEP 4F

06(6282)1460

同時モーニングショウ

『テヘラン悪ガキ日記』

1日1回上映・朝10:30~

★『ブラックボード』の前売券をご提示の方は一般当日券¥1700を¥1400に割引いたします。